

会議名	令和元年度第1回港区指定管理者選定委員会
開催日	令和元年7月22日(月) 午後3時30分から5時30分まで
委員	〔出席者〕 委員長：田中副区長 副委員長：浦田企画経営部長 委員：大浦企画課長(区役所改革担当課長兼務)、荒川財政課長、湯川総務課長、吉田契約管財課長 〔欠席者〕北本総務部長(副委員長)
出席所管課長	①山本学務課長 ②松田教育指導課長 ③遠井芝浦港南地区総合支所管理課長 ④西川保育・児童施設計画担当課長、後藤赤坂地区総合支所管理課長 ⑤加茂麻布地区総合支所管理課長
事務局	企画担当(山田、老後係長)
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 指定管理者の選定について ①箱根ニコニコ高原学園 ②みなと科学館 ③伝統文化交流館 ④赤坂子ども中高生プラザ青山館 ⑤麻布子ども中高生プラザ 3 閉会
配布資料	資料1 箱根ニコニコ高原学園 資料2 みなと科学館 資料3 伝統文化交流館 資料4 赤坂子ども中高生プラザ青山館 資料5 麻布子ども中高生プラザ ※資料内容 資料● 指定管理者候補者選定調書 資料●-2 指定管理者候補者選考委員会報告書 資料●-3 指定管理者応募者提案内容の比較表 資料●-4 職員配置表 資料●-5 選考委員会採点表 資料●-6 選考委員会議事録 資料●-7 指定管理者指定申請書(他、添付書類等) ※資料4のみ 資料● 指定管理者候補者選定調書 資料●-2 指定管理者指定申請に関する審査表 資料●-3 職員配置表 資料●-4 指定管理者指定申請書(他、添付書類等)

会議の結果及び主な発言	
	<p>1 指定管理者の選定について</p> <p>①箱根ニコニコ高原学園</p> <p>②みなと科学館</p> <p>③伝統文化交流館 (所管課長から指定管理者候補者選定調書等の説明)</p>
芝浦港南管理 課長 委員長	説明は終わったので質疑に入る。
湯川委員	職員配置について、この施設はほかに類似施設と言えるところがないので難しいところだが、区が想定するような内容だったか。
芝浦港南管理 課長	ほぼ、想定するとおりの配置の提案であった。
浦田副委員長	事業の集客力が決め手の一つになるが、落選事業者の方が文化的な事業を提案しているように思われる。二次審査で逆転して選考されているが、その理由は。
芝浦港南管理 課長	関係機関との連携の提案について、伝統文化や芸能関係の事業者だけでなく、区内の様々な施設や伝統文化に関する活動を行っている団体との連携というところで差があった。
大浦委員	地域との連携が重要だが、地域の会議体には参加するのか。
芝浦港南管理 課長	当然のこととして参加を表明している。
吉田委員	事業運営費が令和2年だけ少し高い理由は何か。
芝浦港南管理 課長	新規開設なので事業構築に係る経費等があるため、初年度は高くなっている。
湯川委員	二次審査での逆転について、客観的に説明を。 実務的な提案については落選事業者の方が評価が高く、関係機関や地域との連携と施設長予定者の意欲の部分での大幅な差で逆転しているが、その要因はどのようなことか。
芝浦港南管理 課長	逆転の要素として特に大きかったのは、地域との連携である。地域の伝統を重んじている団体とどう連携していくかということや、そういう団体と既につながりがあるこ

委員長	<p>と、大使館とのつながりがあることが評価されている。</p> <p>施設長予定者が、プレゼンテーションの質疑において、非常に能動的かつ積極的であり熱意を感じられたところが大きな理由である。</p> <p>他になければ、本件は了承とする。</p> <p>④赤坂子ども中高生プラザ青山館</p> <p>⑤麻布子ども中高生プラザ</p>
-----	---